

「概念型カリキュラムの理論と実践」のためのワークショップ

Workshop for “Concept-Based Curriculum and Instruction”

講演者：

内藤 満地子 先生

(リン・エリクソンとロイス・ランニングの「概念型のカリキュラムと指導」公認トレーナー兼プレゼンター)

日 時：2022年11月12日(土) 10時～16時30分

場 所：東ヶ崎潔記念ダイアログハウス, 国際会議室

参加者：34名(学外から30名参加)

本ワークショップは2部構成で、午前中はリン・エリクソン&ロイス・ランニングの「概念型のカリキュラムと指導」の公認トレーナー兼プレゼンターである内藤満地子先生に「概念」及び「概念型カリキュラム」について解説していただき、その後、本年9月ICUに着任された小松万姫先生(元IB認定校教員)に授業実践について報告していただいた。小松先生の実践報告は、実際のニュース報道に関して、複数の資料を分析し、それぞれの資料の価値と限界を考えるとというものであった。昼食休憩をはさみ、午後はグループごとの作業に入った。参加者には申し込みの際に興味のある教科や概念を提出してもらい、それに基づいてグループ分けを行った。午前中の最後に概念型カリキュラムを考えるための参考資料(マクドナルドVSバーガーキング、「金子みすゞ」の詩など)が渡され、ランチタイムを利用したグループごとの活発な交流が認められた。最後は、グループごとのアイデアを全体で発表して共有し、同時に、発表に対するコメントや個人の振り返りを記入してもらい共有した。

コロナの感染対策を十分に取しながら、他大学の学生・院生や現職の教員(IB教員を含む)が多数参加し、午後は予定の時間を30分ほど超過したが、グループごとに活発な議論と発表を行うことができた。「概念型カリキュラム」はIB教育の重要な指導法の1つでありながら、実際の教育現場で実施することが難しいこともあり、今回のワークショップを通じて理解を深め、協働作業を通じて知識を実践に結び付けることができた。参加者の属性や興味のある教科や概念も多岐に渡るなか、互いの異なる立場を尊重し、自らの「ものの見方」を検証する契機になったと思う。今後も定期的に学習の機会を設け、ICUがIB教員養成においてリーダーシップを発揮できるようにしていきたい。

半田 淳子 HANDA, Atsuko